

定理 4.10 A を n 個の頂点 $V = \{v_1, v_2, \dots, v_n\}$ を持つ有向グラフの隣接行列とすると, 行列 A^m の $[i, j]$ 成分は頂点 v_i から v_j への長さ m ($m \geq 0$) の道の個数である。

【証明】

A^m の $[i, j]$ 成分を $a_{i,j}^{(m)}$ とする。 m に関する数学的帰納法を用いて示す。

- (1) $m=0$ のとき, $A^0 = I$ (すなわち単位行列) である。定理の主張を満たす。
 - (2) $m = k \geq 0$ のとき, 定理の主張を満たすと仮定すると, $a_{i,t}^{(k)}$ は頂点 v_i から頂点 v_t への長さ k の道の個数であり, $a_{i,t}^{(k)} a_{t,j}$ は頂点 v_i から頂点 v_t を経由して頂点 v_j へ到る長さ $k+1$ の道の個数である。ゆえに, $\sum_{t=1}^n a_{i,t}^{(k)} a_{t,j}$ は頂点 v_i から頂点 v_j への長さ $k+1$ の道の個数である。 $A^{k+1} = A^k A$ の $[i, j]$ 成分は $\sum_{t=1}^n a_{i,t}^{(k)} a_{t,j}$ であるので, $m = k+1$ のとき, 定理の主張を満たす。
- (1)と(2)より, 定理の主張を満たす。